



第 187 回 令和 4 年 6 月 1 日  
**伊豆歩俱樂部会報**

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）  
緩歩で観歩  
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）  
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は  
歎歩で完歩

■第 236 回 伊豆歩俱樂部 6 月例会

古道をつなぐ長者ヶ原を歩く

10Km

伊豆歩俱樂部は、平成 22 年 12 月 16 日から平成 23 年 1 月 27 日までに 5 回にわたり南伊豆古道現地調査を行い「南伊豆古道」現況調査報告書を発表した。今回は、南伊豆・松崎間の岩科地区内の古道を歩くコースです。重文岩科学校をスタートし中野橋、真福寺と進む、切通しの入り口に石の祠があり、イボ地藏と呼ばれている地藏さん、イボの数だけ泥ダンゴを作って奉納すればご利益があると言われている。スギ、ヒノキの中を進むと石畳が出現し、松崎と南伊豆を結ぶ生活道路であったことの証でしょう。右手に洞窟を見送り、急な切通を抜けると指川峠となる。ここからシイ、カシの灌木の繁る緩やかな上りとなり、しばらく行くと峰分岐となる。鬱蒼としたスギ・ヒノキ林が続き前がパッとひらけると大峠で、石の祠に石仏が 1 体ポツとあるだけの小さな峠です。ここから西伊豆の海岸線と富士山の眺めよい暗沢山への往復となります。



左手の長者ヶ原に向う。ここから富士山がきれいに見られる。

長者ヶ原から見る鉄塔。頂上のカヤ野の右手下は、春にはツツジが咲く。

報告書から一部を抜粋

大峠から右へ少し上がれば長者ヶ原の広いカヤ原で、富士山の展望地です。ここから小峠を目指し、小峠には石仏 2 体あります。ここから北へ灌木の中を下り、谷筋のやや左斜面を下る感じで、時折、緩く左右に小さく蛇行しているが 1 本道で、約 1 時間下ると舗装道路の三差路に出る。舗装道路をくねくねと下ると山口の集落です。途中、町指定天然記念物に指定されているクスノキの巨木のある国柱命神社を参拝し、あとはゴールの重文岩科学校を目指します。

- 【開催月日】 令和 4 年 6 月 5 日（日）  
【集合場所】 重文岩科学校駐車場  
【集合時間】 9 時 30 分  
【出発式】 9 時 30 分 ・スタート 9 時 45 分  
【交通機関】 東海バス伊豆急下田駅発（8:00）→蓮台寺駅発（8:10）→松崎駅（8:50）  
松崎駅（9:00）→重文岩科学校（9:09）  
【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）  
【コース】 10Km 団体歩行

・重文岩科学学校駐車場→真福寺→指川峠→峰分岐→大峠→暗沢山→長者ヶ原→小峠→三差路→国柱命神社→重文岩科学学校駐車場(ゴール)  
(ゴール予定) 14時30分

【備考】 ステッキと手袋を持参すると便利です。

【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)  
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

※ 新型コロナ感染防止のため、マスクの着用をお願いします。

※ 新型コロナ感染拡大の時は、中止となる場合もあります。

## ■第237回 伊豆歩倶楽部 7月例会

### 第10回 伊豆東浦路 (伊豆多賀～熱海)

今回の東浦路は、JR伊豆多賀駅からJR熱海までのコースです。JR伊豆多賀駅をスタートして長浜海岸から多賀港入り口の信号を左折して多賀神社わきの大川左岸のゆるやかな坂道をのぼるJRのガードレールを過ぎると、特養ホーム海光園の少し先を右折して山道に入る、進むと伊東を追われて伊豆山へ逃れる途中の頼朝が、のどの渇きに耐えかねてこの地面に刀を突き刺したところ、願いかなって清水が湧いたと伝承されている「頼朝の一杯水」がある。ここから頼朝ラインに入り一杯水峠にでる。妙法寺仏舎利塔から桜沢別荘地、今宮神社と進み、大野屋ホテルから旧熱海市役所、東銀座、咲見町と進みゴールの熱海駅です。



「頼朝の一杯水」

【開催月日】 令和4年7月10日(日)

【集合場所】 JR伊豆多賀駅前広場

【集合時間】 9時15分 ・スタート 9時30分

【交通機関】 伊豆急下田発7:43→伊豆熱川発8:12→伊豆高原発8:27→川奈発8:41→JR伊東発8:54→伊豆多賀着9:11

・各自で確認をお願いします。

【参加費】 会員 無料 一般参加者 500円(マップ、保険代)

【コース】 12Km

・JR伊豆多賀駅前広場(wc)→長浜海岸→多賀神社→特養ホーム海光園→山道

➡頼朝の一杯水➡一杯水峠（w c）➡妙法寺仏舎利塔（昼食）（w c）➡桜沢別荘地➡今宮神社➡大野屋ホテル➡旧熱海市役所➡東銀座➡咲見町➡J R熱海駅

【ゴール予定】 14時30分

【備考】 ステッキと手袋を持参すると便利です。

【問合せ先】 伊豆歩倶楽部事務局 （笹本）

T E L 0558-22-5465 携帯 090-2140-1717

## 第235回 伊豆歩倶楽部5月例会

### 薩埵峠を歩く～富士と伊豆を望む～

伊豆歩倶楽部会員番号 NO1800 船本祐司

5月22日。峠に入る前の波打ち際で荒波にさらわれる旅人も多く、「親知らず子知らず」と呼ばれ、東海道の難所の一つとして知られた薩埵峠(さつたとうげ)を歩く。

6:45 伊豆高原エリアの集合場所の伊豆高原ビール前へ。伊豆歩倶楽部バスは定刻通りにやって来た。マイクロバスと聞いていたけど、ひと回り大きい中型のバスだ。伊豆歩倶楽部新米会員の私にとっては初の遠征。まるで学生時代の修学旅行のように胸が高鳴る。

伊豆歩倶楽部は頼もしい先輩方ばかり。私がマイペースで歩

いているとあっという間に最後尾になってしまう程、皆さん健脚だ。道中、杉山さんから伊豆半島一周歩いた話を聞く。沼津を起点に1日50km歩いたと言うから鉄人だ。私の活動のヒントになる事も教えていただいた。

8:50 富士川サービスエリアにて出発式。会長の挨拶、表彰式、コース説明、ストレッチ体操。雲に覆われた富士山が顔を出す。絶好のウォーキング日和のお天気になってきた。徳田さんの檄から再びバスに乗り込み、富士川サービスエリアからスタート地点へ移動。駿河湾の向こうには、伊豆半島の姿が見えてきた。

9:30 予定のスタート地点より少しずれてしまったが、伊豆歩倶楽部一行は車の往来が激しい国道一号線を下るエキサイティングなスタートだ。洞踏切を渡り、突き当たりのT字路を右折。細い上り坂を往く。5月の新緑をまとった薫風が心地よい。歌川広重の「東海道五十三次」はあまりにも有名で、シリーズ中もっとも売れた作品は「由井 薩埵嶺(さつたれい)」だ。今も往時と同じ富士の絶景を楽しむことができる。広重は描くのに薩埵峠に3度訪れたと言われ、1度目は乳房しか見えなかった。2度目も乳房しか見えなかった。3度目ようやく全てが見えて描けたという。薩埵峠は、万葉の時代から磐城山と呼ばれていた



が、文治元年(1185)近くの海から地蔵菩薩の石像が引き揚げられた。人々はこれを山に祀り、山の名も菩薩と同じ意味である「薩埵」と呼び変えられたそうだ。



興津地区を見守るお墓の脇の遊歩道を往く。ここから 15 分から 20 分は上り坂。お墓の入り口で杖を借りることができ、展望台を越えた先の山之神遺跡で返却できる。由比といえば桜海老のイメージだけど、峠道には枇杷や甘夏がいっぱい。消毒がほとんど必要なく、手間のかからない枇杷には袋掛けされている。季節は熟し、出荷間近だ。所々に季節の草花が生えているので、いろいろ見つけながらハイキングするのも楽しい。手裏

剣のような可愛らしいチリアヤメが群生していた。畑に伸ばしたら一気に増えてしまいそう。これまたかわいい。ヒメオウギ。名前の由来は平安時代の優雅な扇。伊豆歩俱樂部は植物に詳しい人が多い。昨夜の大雨の恩恵、カタツムリも発見。アジサイではなく枇杷の葉にいた。

東海道の興津宿—薩埵峠—由比宿。ここから眺める富士山が、広重の浮世絵と同じ富士の麗姿が見えるポイントなんだけど今日は雲隠れ。様子を見ていたらまもなく、富士の頭が雲の上に出現。広重と同じく、富士山の乳房を見ることはできた。風光明媚な絶景の地、次は空気の澄んだ冬に訪れたい。

10:30 薩埵峠山之神遺跡に到着するとトラブルが発生。なんと、これより先は本日全面通行止め。昨夜の大雨が影響してる。9 時過ぎに土砂崩れがあったそうだ。巻き込まれた人はいないことが幸い。地元の話によると、復旧は最低でも 1 ヶ月。長くても半年はかかるだろう。伊豆歩俱樂部一行は踵を返すことになった。タイミング良くお迎えにやってきたバスに再び乗り込み、由比駅を目指して走る。通行止めで引き返したことによって、田代さんの落としたイヤリングが見つかるという嬉しいイベントも発生した。



11:30 由比駅から薩埵峠登り口までの寺尾倉沢地区旧東海道を歩く。旧東海道に入ると早々に伊豆石の蔵が建っていた。廻船で材木を江戸へ運び、復路は船が軽いので伊豆半島で伊豆石を積み込む。当時から伊豆石は高級品なので、いづれにしても栄えた集落なのが想像できる。寺尾倉沢地区は旧家が多く、くぐり戸や格子造りなど重厚な構えから江戸時代の面影を忍ばれる。東海道名主の館・小池邸には小池家に伝わる古文書、高札など貴重な品々が展示してあり、国の登録有形文化財にも指定されている。庭に出ると緑鮮やかでとても綺麗に手入れがしてある。中でも気に入ったのは、江戸時代中期の庭師が考案したとされる音響装置「水琴窟(すいきんくつ)」地中に埋めたかめの中で響く水滴の音が、地上に漏れて聞こえるのを楽しむ装置だ。竹の筒で聞くと良く聞こえるが、静かにしていればそのままでも充分響きを楽しめる。

軒先には伊豆半島からやってきた私たちにはお馴染みの甘夏が並んでいる。あと一週間くらいしたら、今度は枇杷が並ぶのだろう。本来は下りてくるはずだった東登り口に到着。もちろん通行止め。東登り口の前には、かつて茶亭として多くの文人が訪れた望嶽亭藤屋がある。官軍に追われた山岡鉄舟が残していったピストルなど、当時の様子を忍ぶことができる。

13:00 由比井筒屋に到着。2 階の大広間で念願の昼食だ。本日参加した目的と言っても過言ではない、国内で

は駿河湾でしか水揚げされない桜海老。その中でも由比漁港は日本一の桜海老水揚げ港だ。まさしく富士山の湧水の恩恵であり、雪解け水で育った桜海老は実が大きく、甘いのが特長。桜海老のかき揚げは揚げたてをいただく。だし汁も良いが、えび塩をかけても美味しい。サクサクで海老の香り満載。ひまわり油で揚げてるそう。



食後は由比本陣へ。由比宿は日本橋から 16 番目の宿場だ。目に飛び込んでくるのは、側溝で重なり合って甲羅干しの亀たち。この横の長い水路状の壕で、大名行列の馬に水を飲ませたり、身体を洗ったりしたという。他の宿場の本陣ではあまり類例を見なく珍しい。

14:30 本日のゴール・ゆい桜えび館に到着。閉会式を終え、それぞれ遠征のお土産を購入したり。バスに揺られて帰途に就く。早朝は松崎から出発し、伊豆半島各地でメンバーが昇降し、最後は松崎

に帰ってくる。改めて伊豆バスさんに敬意を表したい。

### ◆◆◆例会報告◆◆◆

#### 静岡県ウォーキング協会 第28回合同ウォーク

田子の浦富士山眺望ウォーク

- ・開催月日 令和4年5月8日(日)
- ・集合場所 JR東海道線 新蒲原 駅前広場
- ・受付 8時45分～9時15分 ・出発式 9時20分
- ・スタート 9時50分
- ・天候 晴れ
- ・距離 18Km(42名) 15Km(43名)
- ・参加者

団体名	参加者		合計	備考
	男性	女性		
来賓	1	2	3	県観光政策課、静岡新聞社
伊豆歩俱樂部	2		2	
東静歩こう会	8	12	20	
静岡歩こう会	14	4	18	
静岡里山歴史Wの会	6	11	17	
一般参加者	14	13	28	
合計	45	42	87	

- ・ゴール 15Km JR吉原駅 14時15分
- 18Km 鈴川港公園 15時15分

#### 第235回 伊豆歩俱樂部 5月例会

薩埵峠から富士と伊豆を望む



# 伊豆歩俳壇

富士山の雨の乳房や五月晴 田代夏緒

枇杷畑まるつと見ゆる伊豆半島 田代夏緒

駿河来てその名も桜えび通り 田代夏緒

アマリリス抱え薩埵峠指す 田代夏緒

駿河富士薩埵の峠青嵐 清水政悦

歳度なる由比のかき揚げ初夏の味 清水政悦

登り坂汗心地良き薄暑かな 徳田尚志

峠道富岳は見えず琵琶揺れる 徳田尚志



- ・ホームページアドレス <http://www.izuho-club.com>
- ・メールアドレス [info@izuho-club.com](mailto:info@izuho-club.com)
- ・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。
- ※会報への投稿は、毎月 20 日までにお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。
- ・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治  
〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864  
携 帯: 090-7675-8682
- ・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301  
『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 聡長  
TEL & FAX 0558-22-5465

## ■令和4年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！ 仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

〈令和4年4月1日～令和5年3月31日〉

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年

新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。  
※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

